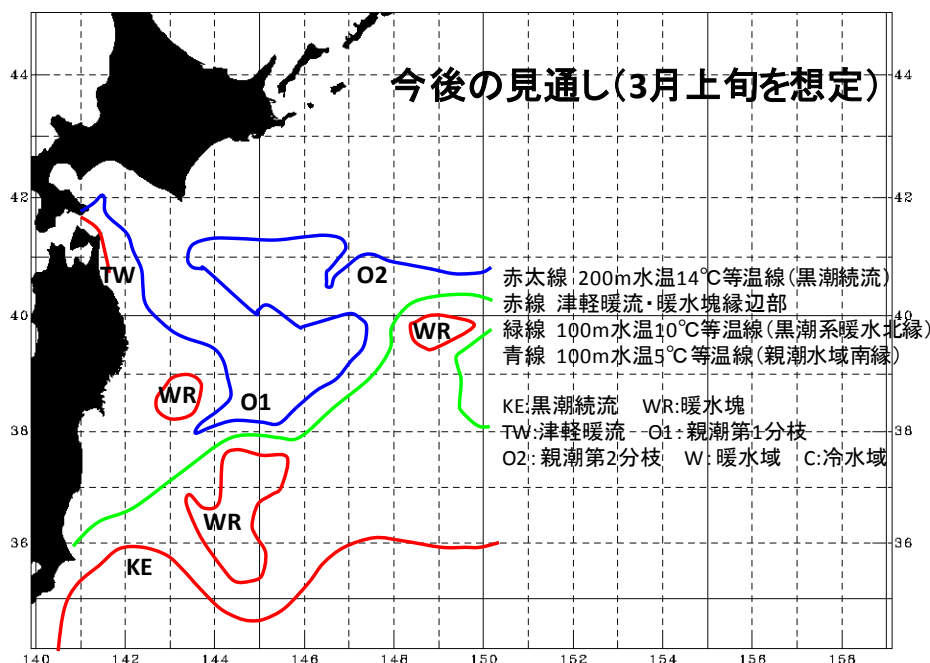


平成26年度 第5回 東北海区海況予報

—別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所、東北区水産研究所がとりまとめた結果—

今後の見通し(平成27年3月~4月)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しは平年並み~やや南偏で推移する。
- ・ 三陸はるか沖と三陸近海の暖水塊は停滞し、常磐はるか沖の暖水塊は西進する。



問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所 業務推進部

担当：塚本、大迫

電話：011-822-2131、ファックス：011-822-3342

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所 業務推進部

電話：022-365-1191、ファックス：022-367-1250

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成26年度東北海区海況予報 第5号

《今後の見通し (2015年3月～4月)》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～やや南偏で推移する。三陸はるか沖と三陸近海の暖水塊は停滞し、常磐はるか沖の暖水塊は西進する。

《海況の経過 (2014年12月～2015年1月) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

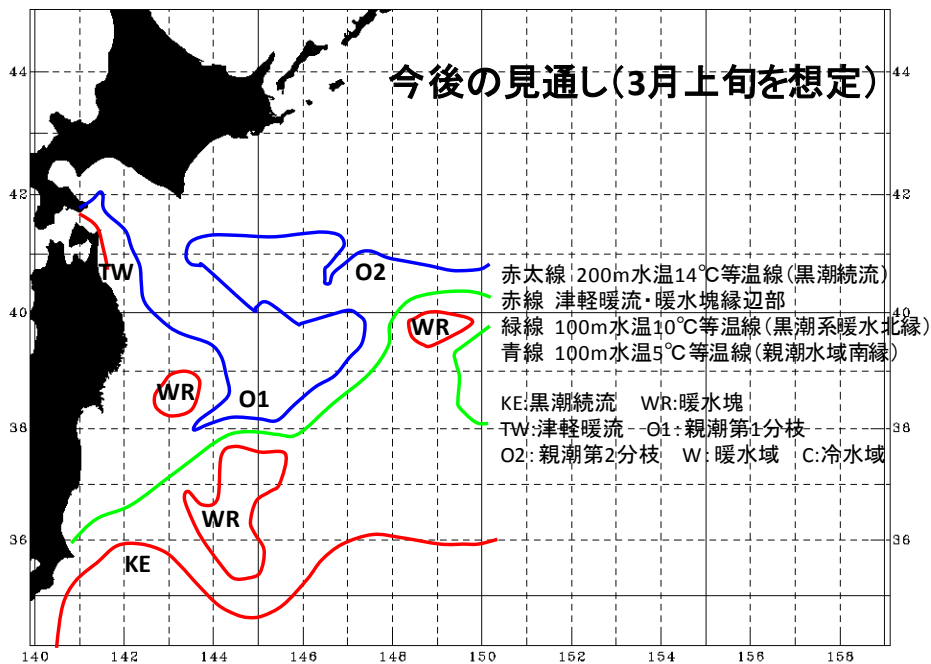
近海の黒潮続流の北限位置はやや南偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移した。釧路沖の暖水塊と金華山沖の暖水塊は消滅し、三陸近海の暖水塊は停滞した。

《現況 (2015年2月上旬) の特徴》 (注) FRA-ROMSシステムによる結果

近海の黒潮続流の北限位置はかなり南偏、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。暖水塊が三陸はるか沖、三陸近海および常磐はるか沖にある。

(注) この海況予報は、独立行政法人水産総合研究センターにより開発され、2012年5月より運用を開始したFRA-ROMSシステムを用いている。

3月上旬予測水温分布図

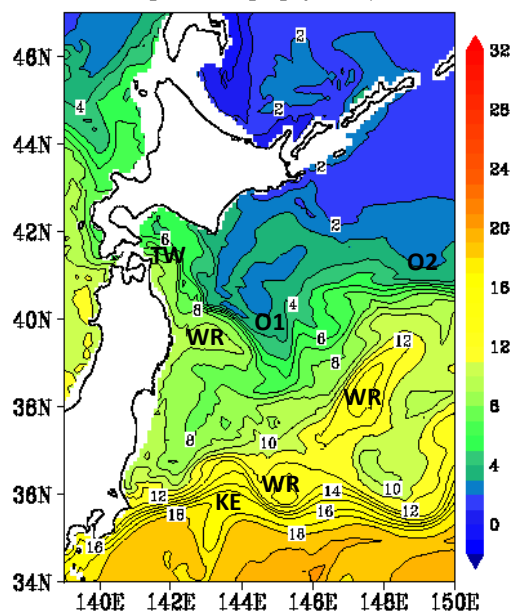


2月上旬現況水温分布図 (100m深)

2015/02/08

FRA-ROMS

Temperature[°C] (100m)



図中の記号はそれぞれO1が親潮第1分枝、O2が親潮第2分枝、WRが暖水塊、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流を表している。

参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	独立行政法人 水産総合研究センター 東北区水産研究所
岩手県水産技術センター	(取りまとめ機関)
宮城県水産技術総合センター	独立行政法人 水産総合研究センター 北海道区水産研究所
福島県水産試験場	
茨城県水産試験場	